国内シェアトップのガス栓メーカー

光陽産業株式会社

水道、電気と並ぶ重要なライフラインであるガス。ガス漏れという危険と隣り合わせにありながら、今では誰もが安心して使える欠かせない生活インフラになっている。安全確保の要となるのが、ガスの開閉を担うガス栓だ。そのガス栓で国内トップシェアを誇るのが、1926（大正15）年創業の光陽産業株式会社である。

◆飽くなき安全確保の追求

4代目となる大山健二郎現社長の曽祖父が、自身の旋盤職人としての腕を生かして、品川豊町（現在の本社所在地）でバルブ製造に乗り出したのが始まりだ。

代表取締役社長
大山　健二郎 氏

企業理念

・モノづくり
　お客さま第一のモノづくりを大切にし、セキュリティー・テクノロジーを通じて、社会と暮らしの安全に貢献します。
・ヒトづくり
　新世紀を担う感性豊かなヒトづくりを大切にし、太陽のように輝く企業を目指します。
・コミュニティーづくり
　ともに共感しあえる社会・地域との関係づくりを大切にし、環境保全、社会貢献に努めます。

東京ガスに品物を納める血縁者がいた関係で、ガスメーターにバルブを付ける納品形態を獲得。戦後は健二郎氏の祖父にあたる2代目社長が、北海道から九州まで全国のガス事業者にガス用バルブを直接売り歩いた。「リュックサックにガス栓を詰めて全国を回っていたと聞く。北海道にはあえて冬を選んで営業していたようで、今も2代目の昔話を語るお客様がいる」（大山社長）という。地道な営業で全国販売の基礎を築き、現在は都市ガスで40％強、プロパンガスで35％のシェアを持つ業界のリーディングカンパニーに成長した。

背景にあるのは、ガス事業者とともに取り組んだ飽くなき保安性能の追求だ。例えば、ガス栓を壁や床に埋め込むタイプの開発。大山社長は「昔はガス栓といえば露出しているのが当たり前で、就寝前にガス栓閉めてと言ったものだが、最近は埋め込み型やガス機器への直接続型が主流。利用者に触ってもらわない方が安全という考え方になった」と解説する。ほかにもガス漏れを検知すると自動的にガスを止めるヒューズ機構や、つまみがなくワンタッチで接続できるガスコンセントなど、自社の開発製造技術を用いて数々の安全機構の開発に携わってきた。安全・快適をモットーに、ガス事業者の仕様に合わせて製品開発を続けた結果、今では500種類以上のガス栓、ガスコードをラインナップしている。

ガスコンセント（露出・ボックスタイプ）

◆ガスで培った品質技術を生かし新分野進出

継ぎ手機構を生かして一方で、ガス栓で培った技術を生かし、ガス以外の分野での市場開拓を積極化している。水道機器関係のバルブ・継ぎ手や、新幹線車両用のバルブのほか、回転寿司店でお茶を入れる際に用いる湯の注ぎ口など。なかでもワンタッチ接続の継ぎ手技術を採り入れた業務用空調配管継ぎ手や、医工連携で開花した点滴などに用いる医療用コネクタをはじめ、流体や素材に応じて、安全に簡単に接続できる継ぎ手関連製品を次々に開発している。「ガスで培った長年の信頼と、高い安全品質が提供し続けたモノづくり技術が大きい」（大山社長）。設計、素材開発から加工、検査までを自社で完結し、多種多様な要望に迅速に対応できる開発製造体制が、同社の強さの一因になっている。

学生との交流会

その開発生産拠点は、新潟県上越市に構える上越工場。近隣にある第二工場とともに、最新の機械設備と検査試験設備を整え、ガス関連製品とともに、さまざまな製品を開発しているが、最近同市内に新たな工場用の土地を取得した。大山社長は、「カメラやセンサー技術を用いて、いわゆる次世代に通用するスマートファクトリーを目指す。さらなる新規市場開拓に向けて研究開発を強化する狙いもある」と強調、5年後に迎える創立100周年を見据えている。

●長寿の秘訣

４代に渡ってガス栓を軸にガスの安全性を高めてきた。少しのガス漏れも許されないバルブの絶対品質を実現し、それが同社の信頼とブランドを高めた。大手都市ガス事業者との共同開発が基本だが、光陽産業が主体的に企画提案した機構やアイデアは数知れない。厳しい品質要求を満たしながら、多様な素材と流体を扱えるようモノづくり技術を磨いてきたことが、同社成長の原動力。スマートファクトリーで一段のモノづくり力を目指す同社に死角は見当たらない。

上越第二工場

●会社概要

創　　立：1926（大正 15）年６月
設　　立：1939（昭和 14）年７月
所 在 地：東京都品川区豊町 4-20-14
事業内容：1. 都市ガス・LPG 用ガス栓・バルブ・継手・接続具、関連部材の開発・製造販売
2. 車両用バルブ、一般産業用バルブ、止水栓・水栓器具、関連部材の開発・製造販売
3. 省力化システム・省力化機器の開発・設計・製造販売
4. 精密加工部品、OA 機器、環境機器、半導体関連機器の開発・設計・製造販売
資 本 金：3 億円
売 上 高：70 億円（2020 年６月期）
社 員 数：354 名

URL：https://www.koyosangyo.co.jp/